



はま なし

鶴岡市立西郷小学校 学校だより
令和元年度 第6号 (2019. 9. 27 発行)
～家庭・地域とともにある西郷小学校～



挑戦し伸びてきた熱いを実りの秋へつなぐ



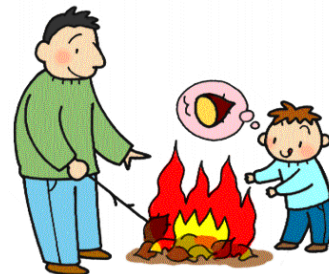
本校では、1年間を6つの期に分けて、それぞれの期ごとにねらいをもって子供たちの力を伸ばすように教育活動を計画しています。

第3期(8・9月)は“伸びの実感”をテーマとしました。夏休み中の様々な体験、普段はできない自由研究や考案創作工作などについて、一人ひとりが発表を行い、みんなから認められた上で担任がコメントを返し、その頑張りを本人が実感できるようにしました。

また、暑い夏の間一生懸命練習した水泳についても、水泳大会の後の子どもたちの感想には、自己の記録という壁を突破し自分の成長を喜ぶ内容のものが多くみられました。

さらに、10月初めには通知表配布があります。その子その子の得意な面や良さをお知らせすることで自尊感情を高めるということと、これから先どのようなことを目標にしながら学校生活を送っていったらいいのかという見通しを持ってもらうことをねらいとしています。

ぜひ、ご家庭でも、日々成長する子どもたちに、伸びが実感できるような励ましの声掛けをお願いします。



そして迎える**10・11月の第4期は“団結と創造”**というキーワードを掲げて、諸活動が行われます。その中心となるのは、大きく二つです。

一つは、なんとといっても10月19日に予定されている学習発表会です。すでに、各学年でその学習内容を生かした発表となるようまとめに取り掛かっています。おうちの方々も楽しみにしていることでしょう。子供たちの学びが、それぞれの形で発揮されることを期待しています。

もう一つは、「日々の授業」の中での団結と創造の体験です。そのためには、授業を計画する教職員と、授業に参加する子供たちとの両面の頑張りが必要です。教職員も様々な研修会へ参加しています。それを校内の授業研究会を通して全員で共有し、毎日の授業へ生かしていくという取り組みに力を入れています。小学生は各学年1年間で1000時間前後の授業を受けます。1つ1つの授業を大事にし、友達や先生と団結して創造する経験を1000回積み重ねることで、「学びに向かう姿勢や意欲」を培い、しっかりした「学力」の形成につなげていくためです。



この時期に、「勉強すること」にしっかりと向き、取組む姿勢づくりを目指します。各ご家庭でもお家での学習が習慣化できるようご協力をお願いします。お家の方がそばに付いて励ましの声かけができるのも小学生の間です。その後は、自らの力は自ら高めていく発達段階に入ります。子供たちの将来の土台づくりを連携して進めましょう。